

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 19 日作成)

委員会名	衝突・衝撃問題小委員会	主 査 名：野中泰二郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：上谷宏二
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	超高層建物、エネルギー関連施設、化学プラント、公共性の高い建物などの重要な構造物が自然災害、事故、あるいは人為的攻撃により飛来物の衝突・爆破等の衝撃的な過酷荷重を受けた場合の構造物の耐衝突・耐爆性能の評価法を構築し、有効な防止対策を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	野中泰二郎(中部大) 橋英三郎(阪大) 井元勝慶(大林組) 内田直樹(神戸大), 大野友則(防衛大) 河西良幸(前橋工大) 世戸憲治(北海道学園大) 和田章(東京工大) 中山昭夫(福山大) 西田明美(東大) 濱本卓司(武蔵工大) 榊井健(関西大) 上谷宏二(京大) 谷村真二(愛知工大) 南宏一(福山大)	
設置 WG (WG 名: 目的)	衝突・衝撃問題小委員会 WG: 衝突・衝撃問題を項目別に分け, 具体的な事例や, 資料調査を行い, 小委員会の活動内容の密度をより高める。	
2004 年度予算	130,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 8 月 31 日, 第 1 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会 (13 人) 2004 年 9 月 22 日, 臨時 衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会 (8 人) 2004 年 12 月 21 日, 第 2 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会 (8 人) 2005 年 3 月 8 日, 第 3 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会 (11 人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2004 年 8 月 31 日, 京王プラザホテル札幌にて第 1 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会を開催し, FEM による高速衝突解析 (WTC テロ) による崩落解析事例、爆発実験の水平方向高速度撮影結果などの成果報告がなされた。 2004 年 9 月 21 日, 赤坂プリンスホテルにて、衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同の臨時委員会を開催し、米国政府建物周辺に設置された侵入禁止ガードにトラックが衝突した場合のシミュレーション結果と有効な設計手法について米国 National Crash Analysis Center の Steve Kan 博士からヒアリングを行った。 2004 年 12 月 21 日, 第 2 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会を開催し, 主題に関する解析事例, 実験ビデオなどが各委員により紹介され, 又, 2005 年 11 月に国際シンポジウムを開催することなどが決まった。 2005 年 3 月 8 日, 第 3 回衝突・衝撃問題小委員会 + 同 WG 合同委員会を開催し, 主題に関する前回よりさらに進展した解析事例, 実験ビデオなどが各委員により紹介された。又, 海外からの 10 人程度の招待講演を含む国際シンポジウムを 2005 年 11 月 21 日 ~ 23 日に名古屋で開催することが決まった。又, それと前後してシンポジウム開催のための準備委員会が発足し, 2004 年 12 月 16 日に日本総合研究所 (大阪) で, 2005 年 1 月 21 日に CRC ソリューション (大阪) で, 開催の詳細が検討された。  委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の目標はほぼ達成された。
その他評価すべき事項	